

ご利用者各位

平素は、当事業所の運営にご協力いただきましてありがとうございます。

ご多忙の中、保護者の皆様にはアンケートにご協力をいただきましてありがとうございました。

平成30年度保護者向け放課後等デイサービスアンケート評価表集計結果

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	小計	ご意見	保護者の方へ
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	9	0	24	高学年には少々狭いように感じます。	各グループごとの教室の設置と、各活動に合わせた活動スペースは今後も計画的に考え、取り組んでいきます。P9:S2P9:S30
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	13	1	24	子どもに対して(障害)、適切であるか?疑問。視覚的支援など分かりやすい方法を使ってほしい。言葉だけでは伝わらない。	職員のスキル向上のため、外部講師講習を定期的に行っています。 *福祉大作業療法学科准教授(月1回程度) *外部講師依頼講習(定期開催)【権利擁護と虐待防止やリスクマネジメントなど】 *社内研修(随時開催)【支援内容の見直しや情報伝達・共有など】
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	3	0	24		適切な設備設置はもちろん、歩行時の声掛けや転倒防止などの配慮・支援を心掛けていきます。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	16	7	1	24		本人・保護者・相談支援専門員・学校・事業所からそれぞれの様子やニーズ・課題などの情報を集め、定期的に個別支援計画を見直し、作成します。保護者や相談支援専門員、学校等からの支援内容のアドバイスや情報提供も随時受け、個別支援計画に反映できるような体制を整えます。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17	7	0	24		平日、土曜・祝日・長期休暇時の活動プログラムは、それぞれの個別支援計画に基づき、活動に偏りや固定化が無いよう、工夫して取り組み、それぞれができるだけモチベーションや意欲を持てるよう計画を立てます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	10	6	24	障がいのない子供との活動について、という言葉については分かりません。	現在、各小学校の支援学級、支援学校からいろんな特性や特徴を持ったお友達が来ています。その中で障がい種別・年齢に関わらず、仲良くお互いを意識し、助け合いながら一緒に生活できるように取り組んでいきます。その他の事業所との交流の機会は今後、検討していきたいと考えています。
保護者 への 説明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	7	2	24		最初のご契約の際に説明させていただいていますが、利用状況の変更や受給者証の更新時に変更があった場合などは、その都度確認し、説明をさせていただきます。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	15	8	1	24	トラブルがあったとき、すぐ叱るのではますます荒れる。「嫌だったんだよね」など気持ちまで代弁した後に対応して欲しい。	特記事項や状況説明が必要な場合は、連絡帳・電話・送迎時の申し送り等でお伝えします。発達の状況や課題については担当者会議・ケース会議等で共通理解を図ります。そして、保護者により良い信頼関係を築けるように職員一同努力いたします。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	9	1	24		全体的な保護者説明会の他、今後は進路や育児に関して、個別な相談に対応できるような体制を整え、取り組んでいきます。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	13	6	24	父母会…これは仕事をしている者としては負担になりますので…必要ないと思っています。秋祭りなどの内容は素晴らしいですが、子供たちには遠慮な時間が長いのでは?	定期的に保護者向けの勉強会の開催や、保護者同士の情報共有ができる場所を提供できるように取り組んでいきます。ご都合が合わない場合は個別にお話しする機会を作ることも出来ますので、ご相談ください。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	7	2	24		保護者からの情報や意見は、毎日のミーティングや申し送り時に、職員全体で共有し、支援内容の見直しや課題の確認、特記事項などそれぞれに合わせた対応方法を図り、迅速に対処していきます。今後は対応後の結果をフィードバックできる体制を整えます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	10	1	24	トラブルがあったとき、トラブル前の原因・きっかけを重視した上で、伝えてもらうとわかりやすい。	連絡帳や電話、口頭での情報伝達を中心に行い、保護者との密な意思の疎通や情報共有を図ります。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	7	2	24		年間予定表・ホームページ・毎月のカレンダーとお便り・毎日の連絡帳等で情報伝達や意志の疎通を図ります。ホームページのブログ等でイベントや行事の告知、活動の結果などを掲載します。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	20	4	0	24		個人情報については、個別にファイリングしカギのついた場所に保管しています。パソコンはセキュリティ対策しており、メールやFAXなども誤送信がないよう、細心の注意を払い取り扱っています。
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	11	0	24		今後も環境やご利用状況に合わせたマニュアル作成を行い、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルの周知・説明の徹底を図ります。保護者やご親族との緊急時の確実な連絡体制の確立も目指します。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	6	0	24		年二回、火災・地震・土砂災害を想定した避難訓練を行っており、今後は、非常事態時の事業所の取り組み、そして各職員の行動、対応方法の訓練を重点的に取り組んで、より安心安全なサービスご利用が実現できるように取り組んでいきます。
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	18	6	0	24	毎日とても楽しそうです。休みの日も行きたいと言っているほど、楽しいようです。〇〇くんが叩いてくる、や時々行きたくない、と言ってくる時がある。	自立に向けた療育を目的とする中で、一人一人が目標を持って日々の活動に取り組む、少しずつでも自分でできることが増え、それが自信につながり、安心、安全に、そして一番に楽しみにしてくれる場所になるよう目指し、日々努力していきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	14	8	2	24	欠席等の連絡がうまく伝わっていない時があるので、職員さんと話し合いをしてもらいたい。	事業所として、子どもや保護者、各関係機関、職員のそれぞれのニーズや課題を把握し、対応・改善することで、より安全なサービスと皆様満足いただけるサービスを実現します。
合計			262	145	25	432	家族対象：返却は 24 家族 × 18項目 = 432	